

大型新人登場に人気作家から 大絶賛の声、続々!!

青崎有吾

投稿作であることも忘れ
手に汗握った。
読者を没入させるストーリーテリングができる方だ。

有栖川有栖

追わずにいられない謎、
驚かずにいられない結末。
医療×本格ミステリの離れ業に欣喜した。

今村昌弘

ずっと作者の思惑どおりに操られた、
実に心地よい読書体験だ。

大倉崇裕

「密室殺人事件」そのものが、大きな伏線として物語の
中に組み込まれている。本格ミステリーの
枠を飛び越えた、傑作であると思う。

久坂部羊

医師作家ならではの知的な
謎解きとどんでん返し。
医療の闇を極限まで駆使した禁断のミステリに脱帽。

東川篤哉

とにかく書きっぷりが達者で、私は
作品の半ばまで読んで「これが
今年の鮎川賞だな」と確信した。

方丈貴恵

読了後、衝撃と余韻が心に沁みて
仕事を手につかなかった。
これこそ傑作の証だろう。

麻耶雄嵩

良質なサスペンスドラマのように、主人公が歩みを
進めるたびに真相に近づいていく展開は
見事のひと言。

南杏子

罪を越えた愛が、ここにある――
その祈りにも似た優しさに私は頭を垂れる。

※推薦者五十音順 装画：Q-TA

第34回鮎川哲也賞受賞作
禁忌の子 山口未桜
東京創元社

現役医師が描く医療×本格ミステリ